



傘中だより 校訓「愛知・自治・敢為」 89名のみならず保護者の皆様へ

平成28年度 第6号

発行日 10月 5日

発行者 校長 三浦恵子



「長月」の語源の一説雨が多い月でもあるので、「長雨月」と呼ばれたように、今年の9月は雨の日が多い月でした。さて、10月はどうでしょう。もうすぐキンモクセイの香りが漂い、紅葉が始まり、秋がやって来ると思います。”スポーツの秋・読書の秋・芸術の秋・食欲の秋”の到来です。さて、元気な89名のみなさんは、どの秋を楽しみますか？秋の夜長、時間を決めて読書に親しんではいかかでしょう。一昨年の朝ドラ「花子とアン」のなかで「想像の翼を広げましょう」という台詞が良くでてきました。本の中の文章からいろいろとイメージを膨らませて、想像の翼を広げていくのも楽しいと思います。また読んでいて感動するフレーズに出会えば出会うほど自分の言葉や知識が豊富になってきます。図書室前には新聞や新しい本の紹介などが置かれています。それは「みなさんに活字に慣れ、そして世の中の出来事を知り、それに対し、自分の考えや想いを持ってもらいたい。」との図書委員さんの考えからだと思えます。テレビ・ゲーム・マンガ・メール・ラインから離れ、本を開けてみて下さい。必ずやみなさんの世界が広がっていきます。そして、その感動を家族・友だちに伝え、読書の輪を広げて欲しいと思います。

9月26日の朝会の話

文化祭の時に、1年生がちょっと変わった不思議の国のアリスとアリサをしてくれました。その場面には出てきませんでしたが、不思議の国のアリスの中にチェシャ猫がアリスに道を尋ねたとき、こんな話をする場面があります。

「どの道に行くかはあなたがどこに行きたいかによります。」

ルイスキャロル (イギリス作家)

この言葉について、新聞に載っていた記事を読みます。

【あなたがどのような学校や仕事、結婚を選ぶかは、あなたがどのような学校に行きたいか、どのような仕事をしたいか、どのような結婚をしたいかによる。自分の希望と自分の能力や環境などとの間にギャップがある場合もあるが、たとえそうであっても自分の行く道は自分で選ぶしかない。そんな場合、あくまで初志貫徹という選択もあるし、ほどほどのところで妥協するという生き方もある。また、年齢や人生経験、環境、時代が変化するにしたがって、「生きたい道」「行こうとする道」が変わってくるというケースも数多く存在するだろう。というわけで、一本道を歩いて来た人とあっちこっちの道をジグザグに歩いて来た人との間に優劣などがあるわけではない。それは今日まで生きてきたあなたが、明日からさきどう生きて良いのかを改めて考えるときには、これまで培ってきた能力や知恵経験が”水先案内人”となってあなたをリードしてくれるに違いない】という記事です。

3年生は、傘中祭も終わり、自分の進路について真剣に考えていく時期となりました。どこに行きたいですか？どこに行きたいかわからないと、どの道を進めばいいかわかりませんね。目標とか目的がないと、どの道でも良いし、どの道もダメかもわかりません。行きたいところを決めないで、始めてしまう。そういうこともあるでしょう。とりあえず始める。やる気スイッチを入れるためには、それも大切だとは思いますが、どこに行きつくかがわかりません。3年生はもちろん、1・2年生も今の状況で進路を考え、こつこつと積み上げていきましょう。そうすれば、途中修正はいくらでも可能だと思います。

傘中祭も終わり落ち着いて学習する時期になった今、自分の進むべき道について考えて欲しくてお話ししました。



郡中新人大会

応援ありがとうございました。

10月3日(月)・4日(火)に、郡中新人大会が行われました。

男子ソフトテニス団体 **優勝**
個人 **優勝** 小澤・長尾壮 組
女子ソフトテニス個人 **優勝** 柘田・出口 組
剣道女子 個人 **優勝** 仲井
野球(由岐と合同)・バスケ男子・剣道男子
・バレー部(由岐・栄喰と合同) **準優勝**

新チームとして取り組んだ郡中新人戦。この試合結果を一つの糧としてこれからますます頑張ってくれと思います。



10月の行事

- 18日(火) 郡中音楽祭
(由岐中) 3年生の合唱・音楽部・総合学習邦楽コースが参加
- 21日(金)・22日(土)
町の防災キャンプに2年生が参加。
- 27日(木) 郡中駅伝大会
(日和佐コース)

お願い

本校では自力通学をすすめています。雨天時、自動車での送りは市宇ヶ丘学園入り口付近が混雑し、危険を伴います。学校より離れた場所(運動側駐車場等)で降ろしていただき、歩かせていただけますようお願いいたします。

